

化石模型を作ろう：西部支部例会報告

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-07-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森, 伸一 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00025469

化石模型を作ろう —西部支部例会報告—

森 伸 一*

8月24日、県高校理科教育研究会地学部会と共催で化石模型作製の実習会を磐田南高校で開いた。参加者は12名。この実習会を企画した時には、小・中学校の先生方の参加を期待し、地学会西部支部の会員にはハガキで知らせたが、参加者数ではもう少しという結果であった。

まず、参加者の感想を紹介する。

- ① 思ったより簡単に作ることができ、楽しい時間をすごすことができました。生徒たちでも簡単に短時間で作ることができそうなので、授業の中に取り入れてみたいと思います。
- ② 実物をみたうえで、さらにこのようなレプリカを作らせることは非常に有効なことだと思う。私自身は生物が専門だが、時代を追った進化についての興味づけに良い実験だと思う。
- ③ 「化石」、これは子供のころの夢でした。恐竜の化石がみつかったら……。アンモナイトの化石をもっていたら……。子供（生徒）達に化石を一つでも持たせてあげたい。しかし本物の化石を一つずつ配ることはたいへんなものです。でも今日のレプリカ作りの実習がそれを現実のものにしてくれました。子供のころの夢を、今、教師になって子供たちにかねえてあげられる。
- ④ 歯科の歯型用のデントシリコンVなどの思いがけない材料が化石レプリカ（雌型）作りに応用できることなどを知り、非常に参考になった。身近かなものの中に意外にすばらしいものがあるということの実証として、よい実習だったと思う。

〈実習方法〉

- ① 化石の雌型づくり……まず、シリコンゴムや歯型用デントシリコンVなど(1kg 5,000円前後)と化石を用意する。シリコンゴムはかたまるまで半日以上かかるが、デントシリコンVは10分ぐらいいでかたまる。ともに弾力がある。凹凸が明確な化石には最適。巻貝など立体的な形の化石の雌型をつくる場合は一工夫がいる。シリコンゴムの場合はゴム液をいれる容器(牛乳などのパックの紙でよい)が必要。デントシリコンV(粘土のような固体で型をとっているうちにかたまる)の方が取扱いが楽だが雌型として長持ちの点で難がある。なお場合によっては処理中に化石を一部いためることもあるので注意。
- ② 化石模型の量産(レプリカづくり)……雌型にセッコウを流しこみつくる。セッコウの場合、色の点でリアルさに欠けるので生徒に色づけさせてもよい。三葉虫の量産には最適のようだ。今回の実習にあたり磐田市の牧野歯科と磐田南高理科助手の本間さんにお世話になった。また、地学会の行事等への要望を参加者にきいたが次のような意見があった。

1. 昨年のケイソウのプレパラート作りといい今回といい、「作って楽しい」「あとに残せる」実習は有意義なので今後もこのような実習会を希望する。
2. 県内各地への巡検は期待しているが、土曜日の午後は参加しにくい。
3. 遠州地方で化石が見つかる場所について教えてほしい。
4. 三葉虫、アンモナイトなど有名な化石の実物を手にいれる方法を教えてほしい。

*静岡県立磐田南高等学校